

地域の人々との
裸のつきあい。
失われていませんか。



「目黒の新進作家—七人の作家、7つの表現」展 〆(MFAYOKUJO TOKYO 2007) © 歴代敏博
撮影協力：三田忠雄(2007年8月開店)

地域に根ざし、地元の人々と共に歩む、目黒区美術館。
失われつつある文化を守り、応援する活動があります。

目黒区美術館は、地域に根ざした美術館として、地元の作家の作品の収集や展示に力を入れてきました。12月には、目黒区にゆかりのある7名の新進作家が参加する展覧会を開催。写真を用いたアートを追求する歴代敏博さんもその一人です。歴代さんは90年代から銭湯という空間に惹かれ、全国の銭湯を同じアングルで撮り続けてきました。今回は展覧会のために、目黒区にある23軒の銭湯を全て撮影。しかし2ヶ月の撮影期間中に、2軒の銭湯が閉店し9月も1軒閉鎖という現実と直面。「銭湯の写真には、時代背景やその土地の暮らしの様子も写っている」と語る歴代さん。「銭湯が減り続けているということは、地元の人々が挨拶をかわし、心を開いてつきあう、そんな文化も失われつつあるのかも知れません」。銭湯の写真に触れ、銭湯へ足を運んでみる。そこにはきっと、明日へ伝えたい温もりがあります。

「目黒の新進作家—七人の作家、7つの表現」展 2007年12月4日(火)～2008年1月13日(日) 会場：目黒区美術館 <http://www.mmat.jp>



目黒区美術館 ラウンジ

横幅 2.5 m、実際に銭湯にいるような
臨場感のある作品を完成できた。

写真家/美術作家 歴代敏博さん

B0プラスの大判プリントを実現。3種類のブラック
インクを備えたPX-P/K3インクが、色飛びの
ないイメージ通りの色彩再現を可能にしました。

MAXIM 13

PX-9500 ¥598,000 (標準価格/税別)



【エプソン購入ガイドインフォメーション】
Epson/050-050-8100
【受付時間】月～金曜日0:00～17:30 (祝日、弊社指定休日を除く) ※左記電話
番号はKDDI株式会社利用しています。ご利用いただけない場合は、
042-898-8644へお問い合わせください。※お客様は必ずお名前を教えてください。
の提供および仕様、デザインは2007年11月現在のものです。仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。
※詳細は、お近くのエプソン製品取扱店およびエプソンOAサービス(<http://epson-oc.jp>)の020-2575201へお問い合わせください。
<http://www.epson.jp> エプソン販売株式会社 セイコーエプソン株式会社